

## 常潤ブランドで食と農を未来へ繋げ

鹿児島県立加世田常潤高等学校  
食農プロデュース科畜産班  
齊藤 真凜 森田 光晴

私達は、全国和牛能力共進会の1年前イベントで「牛ギュウっといっばい」を考案しました。このメニューが最優秀賞を受賞し、飲食店で提供されたことから常潤牛の魅力伝えるためにはどうすべきか研究を行いました。

### 1 うま味の詰まった牛を生産するために

うま味成分であるオレイン酸を増加させるために鹿児島黒牛のおやつや米を濃厚飼料以外に牛に給餌することで脂のうまみや質にこだわりました。地元の畜産農家の方と連携を取り、エサの配合や給仕スケジュールなどアドバイスをいただきながら牛にストレスの少ない飼育方法を実践しました。

### 2 「楽」を目指した畜産経営

I C T機器を導入し、少しの変化にもすぐに対応できる環境を整え、空いた時間で直接牛と触れ合う時間の確保を行え、愛情を多く注ぐことができた。

### 3 食と命を繋ぐために

常潤牛の魅力発信や消費量拡大を目指し、消費者ニーズに合わせた牛を育て販売数量の増加を目指すことが畜産経営にとってとても重要だと考えました。